

1

長期透析の
合併症

- 手根幹症候群 -

長期透析における様々な合併症として今回は「手根幹症候群」です。

手根幹症候群とはどんな病気？

手のひらの親指から薬指にかけて痺れたり、痛んだり、感覚が鈍くなる病気です。また、進行すると親指の根元の筋肉が萎縮してきます。

原因は？

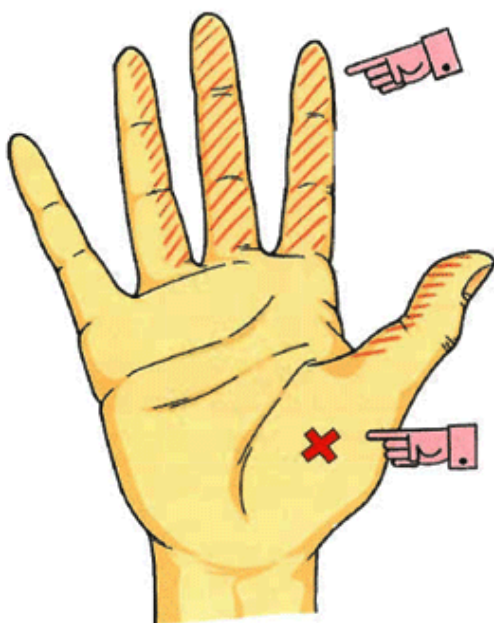
長期間透析をしていると、アミロイドという物質が骨・関節・腱組織などに沈着します。その物質が手首の靭帯に沈着すると、そこを通る神経が圧迫されて痺れた痛みなどの症状が出現します。

こんな治療を行います

保温、湿布、マッサージなど、対処療法がケアの中心となりますが、症状が酷い場合には鎮痛薬を処方したり、手術する場合があります。

早期発見と予防 こんな症状があれば医療スタッフにすぐ報告を

アミロイドを沈着させないために、しっかり透析をすることです。そして、生体適合性のよい透析膜を使用することが予防につながります。



示指、中指を中心にしびれ、痛みが出ます。環指、母指に及ぶこともあります。この痛み、しびれは明け方に強く生じ、手を振ることで楽になります。



母指の付け根（母指球）がやせてきて、縫いもの等の細かい作業が困難となり、右図のようにOKサインもできにくくなります。

